

このようなことでお困りであれば
ぜひ参加をご検討ください！

- 現場感覚だけでなく、そろそろ自社の経営状況を指標を使って把握したいと考えている**経営者**
- 経営幹部として社長を支えたいが、決算書の読み方や活用方法を理解できていない**経営幹部**
- 数字が苦手、決算書を十分に活用できていないと感じている**部門長・経営企画担当者**
- 不動産M&Aの立案など、CRE戦略に必要な財務諸表分析力の基礎を養いたい**不動産担当者**

【講師】 **木下勇人氏**
税理士法人レディング 代表税理士
公認会計士／宅地建物取引士

簿記の知識不要！基礎から学べる入門講座。
分析結果から会社の現状・将来が認識できるようになる！

財務諸表の読み方と 経営分析【入門講座】

- 1 「損益計算書」「貸借対照表」「キャッシュフロー計算書」の見方が理解できれば、どこに手を打てば利益が出るようになるのかが分かるようになります。
- 2 経営に問題はないかなど、経営者が押さえておくべき財務指標（売上総利益率／売上高営業利益率／売上高コスト比率／ROA／ROE／等）を分かりやすく解説。
- 3 決算書を分析することで、会社の現在の問題や課題を認識できるようにすると共に、CRE戦略を検討する際に求められる「貸借対照表」を分析するための基礎力を養います。

ご案内

新しい法人顧客や取引先とビジネスをする時に、相手の現状を知る大きな手掛かりとなるのが「財務諸表」です。

会社の現状を知るには、「財務諸表」の仕組みを理解したうえで基本的な経営分析のスキルを身につける必要があります。例えば、対象企業の業績は伸びる要素があるのか、業績は悪化しそうなのか等の将来予測を行なうためには、ROA、売上総利益率、売上高営業利益率等の財務指標を使いこなして収益力を読み取ることが必要です。さらに、不動産M&A等のCRE戦略の検討にあたっては「貸借対照表」を分析するスキルが求められます。

本講座は、「財務諸表」の見方や分析の仕方を基礎から解説すると共に、サンプル決算書を用いて実際に手を動かしながら会社分析を行ないます。さらに、分析結果から会社の問題や課題を数値で認識できるようになることを目指します。

「財務諸表」の読み方から経営分析の基本を半日で学び、自社はもちろん取引先を理解するための基礎知識を身につける入門講座として開催いたします。

開催日時 **2019年11月19日(火) 13:00～17:00**

会 場 **東京ガーデンパレス**
東京都文京区湯島1-7-5 TEL.03-3813-6211(代)
※詳しい会場案内図は参加証にてお知らせいたします。

参 加 費 **39,600円（1名様）**
（消費税及び地方消費税を含む）
■同一申込書にて**2名様以上参加の場合、
29,700円（1名様につき）**
（消費税及び地方消費税を含む）
※テキスト・コーヒー代を含む。

主 催 **総合ユニコム株式会社**
東京都中央区京橋2-10-2 めり彦ビル南館6階
TEL.03-3563-0025(代) FAX.03-3564-2560

■持ち物■ 電卓を使用いたしますのでご持参ください。

ダイレクトメールの送付先変更・中止をご希望者は、お手数ですが、封筒ラベルにご要件を記入の上、弊社企画事業部（FAX.03-3564-2560）迄ご連絡ください。

※下記弊社ホームページからも本講座はお申込みいただけます。
<https://www.sogo-unicom.co.jp>

参加申込書

財務諸表の読み方と経営分析【入門講座】

●会社名（フリガナ）	●貴社業種
●所在地（〒）	●振込予定日（月 日） ●当日現金支払い希望… ☐ ●ご担当者名（ ）
TEL.（ ） FAX.（ ）	
●出席者名①（フリガナ）	●所属部署・役職名
●E-MAIL	
●出席者名②（フリガナ）	●所属部署・役職名
●E-MAIL	

O-0320191114-050

お申込み先 **FAXフリーダイヤル ☎ 0120-05-2560**

※FAXフリーダイヤル不通時はFAX.03-3564-2560迄おかけ直しください。

お問合せ先 ▶ 総合ユニコム(株) 企画事業部 TEL.03-3563-0099(直通)

●お申込み方法

- ・左記「参加申込書」にご記入後、上記FAXにてお申込みください。参加者宛に「参加証／請求書／銀行振込用紙」をご郵送いたします。「参加証」は当日ご持参いただき、会場受付に「お名前1枚」と共にお渡し願います。
- ・開催直前や当日のお申込みもお受けいたします。その場合は、FAXにて「参加証」をご送付いたしますので、必ずFAX番号の明記をお願いいたします。なお、お支払方法につきましては、別途ご連絡をさせていただきます。

●参加費のお支払について

- ・参加費は「請求書」到着後、原則として開催3営業日前迄にお振込み願います。
- ・お振込みが開催後日になる場合は、左記「振込予定日」欄にご記入ください。
- ・お振込手数料は貴社にてご負担願います。
- ・当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金支払い希望」欄に☑印をご記入願います。

●お申込者が参加できない場合について

- ・代理者にご出席いただけます。既送の「参加証」と「代理者のお名前1枚」をご持参のうえ、当日会場受付までご来場ください。

●キャンセルについて

- ・開催3営業日前（土日祝日、年末年始を除く）迄に、弊社宛に「会社名／氏名／電話番号／返金先銀行口座（振込済みの場合）」を明記の上、FAX.03-3564-2560宛に必ずご連絡ください。
- ・返金手数料として2,000円（1件毎）を申し受けます。なお、開催2営業日前以降のキャンセルにつきましては、全額をキャンセル料として申し受けます。その際には当日配布資料を参加者宛にご送付いたします。

●その他ご連絡事項

- ・お座席は受付順を基本に当方に指定させていただきます。
- ・会場内は禁煙です。講演中の録音・録画、携帯電話等での通話はお断りいたします。
- ・講演中のP.Cの使用は可能ですが、使用に関しては周囲へのご配慮をお願いします。
- ・ご記入いただいた個人情報は、弊社商品案内ならびにセミナーの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。
- ・主催者や講師等の諸般の事情により、講師変更や開催を中止する場合がございます。その際には弊社より参加者にご連絡させていただきます。なお、その際の交通費の払い戻しやキャンセル料の負担はいたしかねますので、予めご了承ください。

セミナープログラム

13:00～17:00 ※15時前後に15分間のコーヒープレイクのほか、随時休憩を挟みます。

講師プロフィール



木下 勇人 (きのした はやと)

税理士法人レディング

代表税理士

株式会社木下財産コンサルティング

代表取締役

税理士／公認会計士／

宅地建物取引士

愛知県生まれ。1999年南山大学経営学部卒業後、2003年監査法人トーマツ名古屋事務所に入所し、非上場会社オーナーの相続・事業承継対策や、企業組織再編支援の専門部署に配属。05年税理士法人トーマツ名古屋事務所へ転籍。その後、08年に公認会計士木下事務所・木下勇人税理士事務所を開設したほか、09年相続・事業承継を専門とする税理士法人レディング代表社員に就任。17年東京事務所を開設。不動産オーナーを中心とする富裕層への不動産・財産コンサルティングほか、自社株問題を抱えるオーナー社長への事業承継コンサルティング等を中心に精力的に業務を展開中。保有資格には、公認会計士、税理士、宅地建物取引士、AFPがあるほか、不動産鑑定士第2次試験合格。

I. 財務諸表の仕組みと読み方

1. 財務諸表の役割の整理
2. 「貸借対照表」からわかること……期末時点での財政状態を示す
3. 「損益計算書」からわかること……会計期間の経営成績を示す
4. 「キャッシュフロー計算書」からわかること…会計期間のキャッシュの増減を示す

II. 経営分析の手法

1. 過去から現在、将来を見ていく時系列分析
2. 同業他社と比較して会社の優劣を見る同業他社分析
3. CRE戦略に求められる財務諸表分析の考え方

III. 会社の儲ける力を分析する(収益性分析)

1. 売上総利益率……会社の儲けの源泉を見ていく
2. 売上高経常利益率……コストをかけずに経営できているか。経営状況の良否を見る
3. 売上高営業利益率……会社の本業の儲ける力を見る
4. 売上高コスト比率……会社にとって優良なコスト、不良なコストを見る
5. 総資本事業利益率(ROA)……事業構造を見る最良の指標
6. 株主資本当期純利益率(ROE)……株主の儲けを見る
7. 1株当たり当期純利益(EPS)……株価収益率(PER)を計算するための基礎指標
8. 1株当たり純資産(BPS)……最低株価の目安。株価純資産倍率(PBR)の基礎指標
9. 株価収益率(PER)……企業の利益水準に対して株価を相対的に判断する指標
10. 株価純資産倍率(PBR)……企業資産・財産の水準に対して株価を相対的に判断する指標
11. キャッシュフロー循環分析……各活動別CFの状況から事業の状況を大まかに分析する指標
12. フリー・キャッシュフロー……投資活動への支出を営業活動への収入の範囲内で賄えるかの指標

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
営業活動によるCF	+	+	+	+	-	-	-	-
投資活動によるCF	+	-	+	-	+	-	+	-
財務活動によるCF	+	-	-	+	+	+	-	-

- ①事業の転換を図っているパターン
- ②健全な資金繰りのパターン
- ③負債を減らし、財務体質の改善に取り組んでいるパターン
- ④健全な資金繰りのパターン
- ⑤資金繰りの観点から注意が必要なパターン
- ⑥資金繰りの観点から注意が必要。将来、投資活動の成果としてキャッシュ・インフローが得られるかが分かれ目
- ⑦資金繰りの観点から注意が必要。現在の資金繰りが厳しい状況。この状況が進むと将来の資金繰りが厳しくなる
- ⑧資金繰りの観点から注意が必要。将来、投資活動の成果としてキャッシュ・インフローが得られるかが分かれ目

IV. 商売のサイクルをチェックする(回転期間分析)

1. 棚卸資産回転期間……在庫の動きを見ながら不振事業をあぶり出す指標
2. 売上債権回転期間……現金回収サイクルを見る指標
3. 仕入債務回転期間……会社の支払いサイトの動きを見る指標

V. つぶれない会社を探る(安全性分析)

1. 自己資本比率……上場企業40%台、中小企業10～20%台
2. 流動比率……金融機関が重視する「支払い能力」を測る
3. 固定長期適合率……長期的な投資と支払いのバランスをチェックする
4. 株主資本比率……返済不要な資金はどれくらいか
5. インタレスト・カバレッジ・レシオ……借金の大小がわかる指標